



社会福祉法人

いのちの電話【東京】

vol.
159
2018.6

「いのちの電話」 —いのち尊し

社会福祉法人いのちの電話

理事・研修委員長 末松 渉



貴族的なものは優れている場合でもどこか弱く、実用的な民器は貧しい場合でもどこかに健やかさが
見えます。そこには活ける生命の美が現れている。
(柳宗悦／思想家)

いのちの電話は、“相談活動”という視点で理解するより、“出会い”という視点で理解する方が、内
包する豊かなものを汲み取ることが出来るように思います。電話を介した“人との新たな出会い”が
“自分との新たな出会い”になって、かけてくる人・受ける人双方にとって、生きる力・生きる喜びに
つながっているからです。

一期一会

過去が咲いている今、未来のつぼみでいっばい
の今
(河井寛次郎／陶芸家)

いのちの電話では、一回性を大切にしています。「また会えるといいですね。」は、「この時間
は、私にとって喜びでした。」を意味しています。受ける人にとっては、喜びと活動への力を受
ける機会となります。とは言え、再びの邂逅は“神のみぞ知る”であることを、私たちは人生の
知恵として知っています。だからこそ“ありがとう”の想いが湧いてきます。だからこそ、新たな
出会いや体験に向かうことが出来ます。

一方で、“なぜあのようなことになったのだろ
う”という思いが、次の出会いへの歩みを鈍らせ
ます。私たちは身近な人に対しては、いつでも会
える、いつも共にいるという感覚が互いの変化へ

の関心を薄めているようです。日常生活でのささ
やかな相手への気がかりが、積みり積みもって、悩
みや苦しみとなって互いの心の隔たりを生み出し
ます。いのちの電話が大切にしている一回性は、
生涯に一度の“ただ今”の時間を、心を込めて過
ごそうとする精神の現れとも言えます。私たちが
生きていく中で体験する挫折・思い通りにいかな
いこと・心の虚しさを、電話での対話を通して味
わう中で、“生きる力・生きる喜び”を共にする
のです。

「他の人だったら、もっと違った出会いになっ
ていたかもしれません」は、“出会い”には心残
り感がついて回ることを意味しています。一人ひ
とりの体験や学んできたことが違うからこそ、
自分以外の人を“分かった”と確信を持って
言い切れないのです。私たちにできることは、わ
かるう・わかりたいという思いを大切にすること
です。“今、ここ”で出会っている相手を思いや

ることであり、相手を大切にすることであり、愛することにつながっています。前述の心残り感は、志を同じくするボランティア仲間との“新たな邂逅”にバトンタッチする姿勢へと向かいます。

One for All, All for One

大きな体の選手たちがスクラムを組んでボールを取る。それを小柄な選手が絶妙なタイミングで後ろにパスを出す。パスを受けた足の速い選手がタックルされた時のために体の大きな選手が全力で追う。こうして一人ひとりがその役割を果たすことで、勝利を手にすることが出来ます。

(五郎丸／ラグビー選手)

いのちの電話では、電話に出るための基本的な関わりを学ぶ課題解決型のグループ学習をする養成研修と、電話での“善き出会い”のために自己への気づき・新たな関わり発見のためのグループでの継続研修が義務づけられています。



一人のメンバーの研修体験の発表に対して、他のメンバーから自分たちの体験で得た知恵や学びの知識からのコメントが伝えられます。わかってくれている、わかってくれない、わかろうとしてくれている、わかろうとしてくれないなど。このような喜び・悲しみ・怒りなどの体験を通して、心の扉を開くということを学んでいきます。約1年半の研修期間でのグループでの学びを通して、“人の成長を待つということ”を実感と共に知っていきます。この共に学び合っている光景を観ていた時、ラグビーで使われるOne for all, All for oneという言葉が自然に心に浮かんできました。

一人の人のこれまでの研修体験の意味を、グループで共有し、仲間の関わりからさらに新たな気づきが生まれる。理解されない体験、わかってもらった体験、スッキリした体験、未消化な体験、全ての体験が、電話での“善き出会い”をめざした研修での学びにつながっています。

知音

自分の心をよく知ってくれる友、親友

(広辞苑／呂氏春秋より)

自分の奏でる音を聴いて心情を察してくれる友が亡くなって、自分の弦を絶った箏の名手の故事から撰られた知音は、親友という意味があるようです。聴くことには、語られている内容と共に心の響きに耳を澄ませることが含まれています。“電話で対話するボランティアの基本的姿勢”を考えるヒントになります。

専門家としてではなく、一般の市民として電話を受けることに意義を見出しているいのちの電話では、性別・年齢・職業など多種多様な人たちが参加しています。メンバーへの信頼や自己への信頼の体験は、グループでの学びを通して得られます。経験や学んできたことが違っていても“一人の人への尊重”は、電話での出会いそのものとも言えます。いのちの電話では、理論学習も大切にしていますが、それ以上に関わりを体験的に学ぶ学習スタイルを大事にしています。対等性や思いやり・愛は、言葉で理解しても、目の前の人との関わりに反映されていなければ、意味がないからです。出会いの中に信頼の感覚が湧いてこないからです。

自分の思いを、そのままに伝えることが出来る便利な道具として、電話だけでなくラインやSNSがあります。私の日々接している高校生たちは、部活動での集合時間・場所の連絡から心のつぶやきまでを、グループで共有するのに使っています。確かに必要な情報を共有し、自分の思いを共有するのに便利です。誰にも言えず、一人で悩み苦しんでいる人にとって、抱えて留まっている感情や思いを、誰かと瞬時に共有する道具として便利です。同時に、電話やライン、SNSの相手とのやりとりが現実の人間関係よりも優先されると思われる使われ方も見受けられます。一時的な関わり体験が、現実の人との関わりに生かされていないのです。まるで、雑誌で取り上げられている可愛い猫に夢中で、家で飼っている猫を粗末に扱っているのに似た感がします。

出会い

本当の変化が起こった瞬間には、人と人との真の出会いがまずあって、そこで両方の側から同じことが経験されていたから、本当の変化が起こったのではないかと思う。（ロジャーズ／臨床心理学者『ブーバー／ロジャーズの対話』より）

「もしもし・・・」の声かけに対して、「はい、いのちの電話です」の返事から会話が始まります。誰かの声を聞きたくて、誰かに語りたくて電話をする。これに対する反応が何もなければ、私たちの心にどのような思い、感情が浮かぶのでしょうか。声かけに応じる人がいること、そのこと自体が生きる力・喜びとつながっています。

「ただ黙って聞いてくれるだけでいいのです」、「あることが気になって、どのように考え・行動すればいいのかわからなくて・・・」、「何のために生きているのか」などの声に応じて聴いているうちに、様々な思い・感情が互いの心に現れてきます。電話を通しての会話が進むにつれて、相手に抱くイメージも変化して行きます。わかっている感触やわかってくれていない感触が、互いの心に気づかずに影響し、その後の会話を心豊かにも、貧しくにもして行きます。やがて、電話を通しての出会いにも別れが訪れます。「電話しなければよかった」、「電話して良かった」という感覚は、出会いの質によるようです。

素の人

巧みに描かなければ美しくならないというように絵は、十分に美しくないはずである。高々まずくないというまでに過ぎまい。美しくしなければ美しくならないのは不自由な証拠である。たとえ拙くとも拙いままに美しくなるような作であってこそよい。不完全を厭う美しさよりも、不完全をも入れる美しさの方が深い。

（柳宗悦『美の法門』より）

何か不全感を残している出会いには、「あなた聴いているの?」、「同じような応え方をするのですね」という電話をかけてくる人の言葉に現れて

います。対等性が問われている瞬間です。話をしている最中での自分のせき込みに対して、「大丈夫ですか?」という相手の気遣いに、「(お気遣い)ありがとう」と応える代わりに、相手の役に立とうとする気持ちが優先する関わり。「こんなことでぐずぐず悩んで・・・。」という内心の声に対し、相手に関心を向けていることを装った関わりは、いのちの電話のかけ手には通用しません。

“おはよう”の挨拶から日常生活での“何気ない”会話や関わりが、急な対処を要する出来事に会った時に対処する力につながっています。私たちの悲しみや苦しみの体験では、立ち上がる力・前に進む力を回復することが必要であることを、私たちは知っています。この力を育むのは、家族や友人など身近な人から受け取る愛であることを忘れてはならないと思います。

終わりに

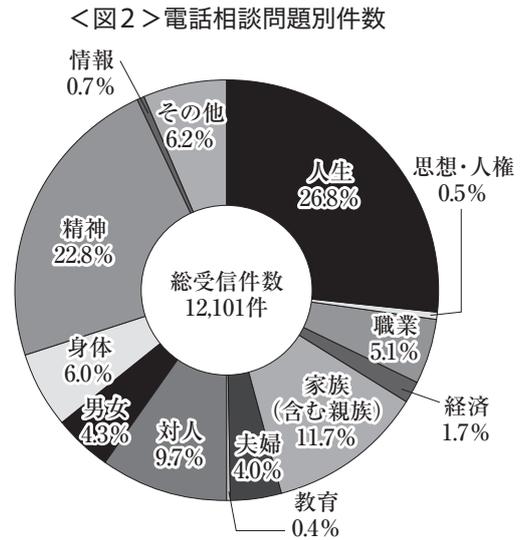
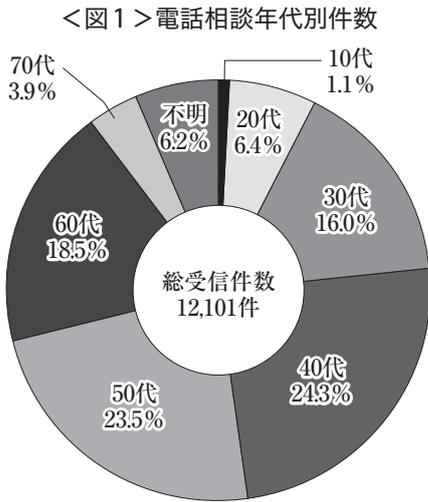
最近では、心理学的援助の専門家や情報が広く普及するようになりました。その反面、友人や家族など身近な人の存在に目を向けることがおろそかになっている気がしてなりません。普通の生活、身近な人との関わりの中に、心理学的援助の本質があるのです。その逆ではありません。いのちの電話は、そのことへ目を向けてくれます。“自殺防止”の視点は、自殺者の数を減らすことを目標としています。“自殺予防”の視点は、自殺防止と社会環境の改善を目標としています。いのちの電話では、人の温もりに渴いている一人ひとりとの“愛の出会い”という質が、何よりも優先して問われています。この出会いの結果が、自殺防止の働きや自殺予防の働きにつながっています。いのちの尊さは、“生きとし生けるものの温もり”への愛おしさが含まれているのではないのでしょうか。



2017（平成29）年 7月～12月

■電話相談

2017年下半期(7～12月)の電話相談は、12,101件(男性4,769件、女性7,332件)であった。相談内容については抱え、この先の不安や孤独を訴える相談が多く寄せられた。 自殺傾向：15.7% 平均通話時間：29分

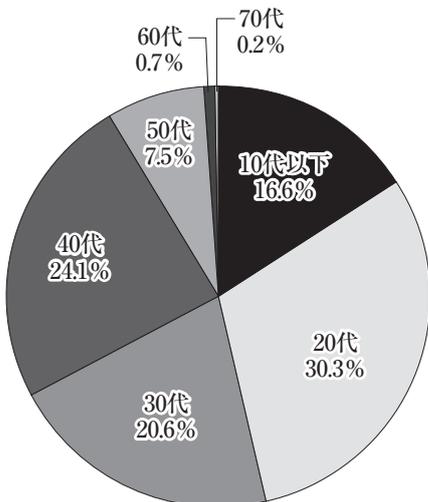


■インターネット相談

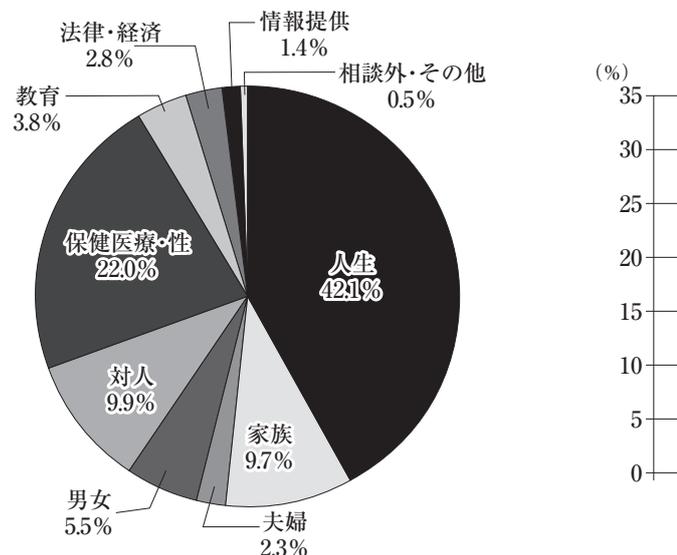
日本いのちの電話連盟が運営管理していたインターネット相談は、2016年度より2017年9月まで、盛岡、仙台、新より実施した。2017年11月以降は、埼玉いのちの電話の運営管理により、仙台、埼玉、東京センターの共同で東京システム(男性165件、女性412件)であった。うち東京センターが対応した相談は125件で、自殺傾向率は46%、10代～30代の相談が多く寄せられた。

また、2017年10月より本稼働された日本いのちの電話連盟によるインターネット相談事業(新システム)は、盛岡、媛、福岡センターにより実施している。新システムの試行を含む相談受付件数は全体で727件(男性225件、女性496件)19件、自殺傾向率は47.07%と高い傾向であった。

<図4> 年代別受付件数(東京システム)



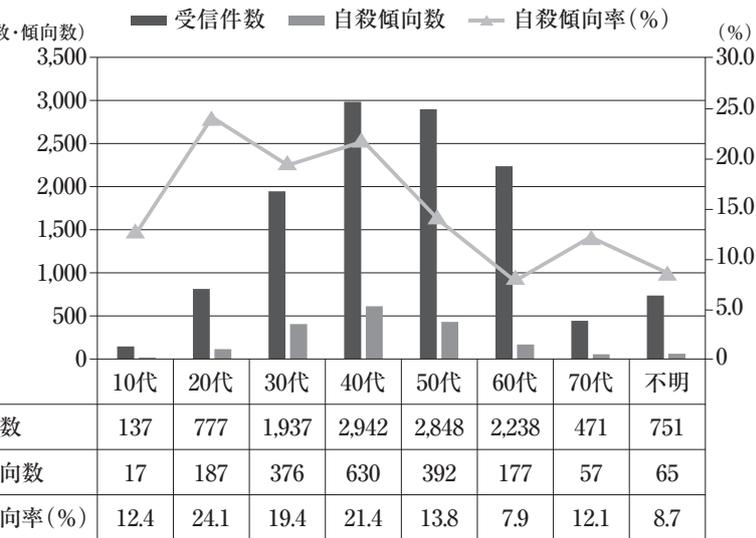
<図5> 問題別受付件数(東京システム)



相談実績

心身の不調や家族を含む人間関係、生活困窮など複数の問題

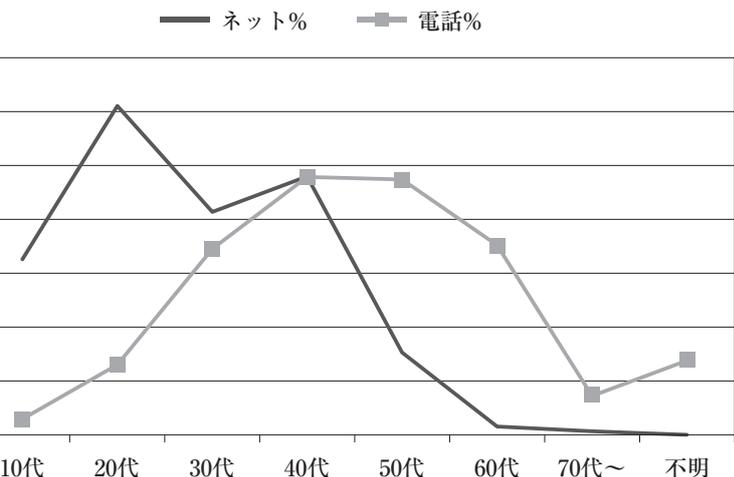
＜図3＞年代別受信件数と自殺傾向率



新潟、埼玉、東京、愛知、奈良、愛媛、福岡センターとの共同システムとして実施している。相談受信件数は、全体で577件(男若年層からの相談が6割以上であった。対応に苦慮する深刻な相

仙台、新潟、栃木、埼玉、東京、川崎、浜松、愛知、奈良、愛媛、その他6件)であった。うち東京センターが対応した相談は、

＜図6＞ネット(東京システム)と電話の年代別受信件数比較
2017年7月～12月



2018年度
東京いのちの電話後援会

チャリティー事業

被爆ピアノコンサート ～未来への伝言～ ご案内

2018年度のチャリティー事業として、「被爆ピアノコンサート」を行います。この事業は、1年ほど前から計画準備を重ねてきました。平和の大切さを感じて欲しいと、10年以上にわたり、全国各地で被爆ピアノコンサートを開いてきたVoiceek (ヴォイスケ)との共催です。ヴォイスケといのちの電話の『人々のいのちを大切にする』という願いは一緒で、それが活動の源になっています。《未来への伝言 ～響け世界へいのちをつなぐ平和の祈り～》というメッセージを送るコンサートです。コンサートで演奏されるピアノは、広島に原爆が投下されたときに爆風を受け、無数の傷を受けました。そのピアノが丹念に修復され調律も行われ、今では力強く美しい音色を奏でています。ピアノの演奏を中心に、歌や踊り、ヴァイオリン演奏、朗読など多彩な内容で、見る人聴く人を楽しませてくれます。パフォーマンスを学ぶ高校生たちの歌声は、私たちを元気にしてくれるでしょう。

コンサートは、奇しくも長崎原爆記念日の8月9日に開催され、会場は文京シビック小ホール(地下鉄後楽園駅歩いてすぐ)、開演時刻は昼の部14:30・夜の部18:30で、2部制になっています。

チケット料金は3,000円(全席自由)です。申し込まれる方は、早めにいのちの電話にご予約下さい。

会場では、いのちの電話の活動を広く多くの方々に知っていただこうと展示を予定しています。

どうぞお声をかけて多くの方に来ていただき、いのちの大切さ・平和への祈りを感じていただければ願っています。

チケット申込先：03-3263-5794





ご支援ありがとうございます



2017年10月1日より2018年3月31日までに、下記の皆さまから暖かいご支援をいただきました。
一同深く感謝申し上げ、ご報告いたします。(敬称略)

企業・団体・宗教法人・学校など 8,366,182円

愛知製鋼株式会社	5,000	株式会社八重洲口会館	50,000	東京ロータリークラブ	100,000
アルプス電気株式会社	30,000	株式会社淀川製鋼所	3,000	トビー工業株式会社	4,000
一般財団法人コープみらい社会活動財団	200,000	公益財団法人ライオンズ日本財団	50,000	豊田通商株式会社	16,000
一般社団法人昭和会館	300,000	興和株式会社	16,000	長瀬産業株式会社	16,000
一般社団法人生命保険協会	300,000	国際ソロプチミスト日本財団 東京一広尾	30,000	日新製鋼株式会社	13,000
一般社団法人生命保険協会・東京都協会	100,000	CBC株式会社	16,000	日鉄住金物産株式会社	16,000
一般社団法人日本建設業連合会 社会貢献活動協議会	300,000	新日鐵住金株式会社	140,000	日本証券業協会	200,000
伊藤忠商事株式会社	16,000	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社	270,000	日本電気株式会社	30,000
稲畑産業株式会社	16,000	JFE商事株式会社	16,000	パイオニア株式会社	30,000
岩谷産業株式会社	16,000	JFEスチール株式会社	91,000	阪和興業株式会社	16,000
沖電気工業株式会社	10,000	住友商事株式会社	16,000	東日本電信電話株式会社	100,000
兼松株式会社	16,000	双日株式会社	16,000	ファイザー株式会社	100,000
株式会社神戸製鋼所	23,000	ソニー株式会社	30,000	富士通株式会社	40,000
株式会社JVCケンウッド	30,000	大同特殊鋼株式会社	6,000	丸紅株式会社	16,000
株式会社日本製鋼所	3,000	玉の肌石鹼株式会社	2,000,000	三井物産株式会社	16,000
株式会社日立ハイテクロジーズ	16,000	蝶理株式会社	16,000	三菱商事株式会社	16,000
株式会社フドウシンエイギョウブ	10,001	TDK株式会社	30,000	三菱電機株式会社	100,000
株式会社村田製作所	30,000	東京江戸川中央ロータリークラブ	20,000	森田会	10,000
市川聖マリア教会	3,000	日本キリスト教団大泉ベテル教会	5,000	日本キリスト教団西片町教会オリーブの会	5,000
お告げのフランシスコ姉妹会久が原修道院	10,000	日本キリスト教団荻窪教会	10,000	日本キリスト教団西千葉教会	5,000
カトリック東京大司教区松原教会	10,000	日本キリスト教団奥沢教会	50,000	日本キリスト教団野方町教会	5,000
カトリック徳田教会	40,000	日本キリスト教団柏教会	10,000	日本キリスト教団野方町教会アーモンドの会	3,000
カトリックベタニア修道女会	5,000	日本キリスト教団亀戸教会	20,000	日本キリスト教団原宿教会	10,000
汚れなきマリア修道会マリアンハウス修道院	3,000	日本キリスト教団経堂北教会	50,000	日本キリスト教団ひばりが丘教会	3,000
国際キリスト教団代々木教会	2,000	日本キリスト教団経堂緑岡教会女性の会	5,000	日本キリスト教団碑文谷教会	5,000
サレジオンシスターズ世田谷修道院	3,000	日本キリスト教団銀座教会	5,000	日本キリスト教団松沢教会	10,000
シャルトル聖パウロ修道女会管区本部	10,000	日本キリスト教団五香教会	5,000	日本キリスト教団松戸教会	3,000
宗教法人カトリック東京大司教区	50,000	日本キリスト教団越谷教会	2,000	日本キリスト教団むさし小山教会	5,000
宗教法人聖書友の会	5,000	日本キリスト教団船江教会	10,000	日本キリスト教団目白教会	12,000
宗教法人聖心会聖心会本部	30,000	日本キリスト教団三軒茶屋教会	10,000	日本キリスト教団弓町本郷教会	5,000
浄信寺	30,000	日本キリスト教団下谷教会	30,000	日本キリスト教団弓町本郷教会女性の会	10,000
聖パウロ女子修道会本部管区長	10,000	日本キリスト教団信濃町教会ぶどうの会	10,000	日本キリスト教団代々木上原教会	10,000
聖母奉獻修道院	3,000	日本キリスト教団白鷺教会	5,000	日本キリスト教団雲南坂教会	10,000
聖路加国際病院ボランティアグループ	50,000	日本キリスト教団洗足教会	10,000	日本ナザレン教団中野教会	5,000
セブンスデー・アドベンチスト多摩永山教会	5,000	日本キリスト教団相愛教会婦人会	5,000	日本ルーテル教団関東地区女性の会	20,000
日本キリスト教団青戸教会	5,000	日本キリスト教団代田教会	10,000	本浄寺	18,181
日本基督教団麻布南部坂教会	10,000	日本キリスト教団玉川教会	5,000	無教会新宿集会	30,000
日本キリスト教団荒川教会	3,000	日本キリスト教団千歳船橋教会	10,000	メルセス会高円寺修道院	3,000
日本キリスト教団井草教会	10,000	日本キリスト教団田園調布教会	5,000	林海庵	50,000
日本キリスト教団和泉教会	10,000	日本キリスト教団東金教会	10,000	レデンプトリスチン修道院	2,000
日本キリスト教団市川三本松教会	3,000	日本基督教団東京府中教会	3,000		
日本キリスト教団江戸川教会	10,000	日本キリスト教団島居坂教会	20,000		
青山学院高等部	40,000	コトモの園幼稚園	16,000	日本聖書神学校学生自治会	3,000
青山学院女子短大同窓会	15,000	女子聖学院	215,000	日本聾話学校信仰教育係	12,000
青山学院初等部	30,000	聖学院幼稚園	20,000	雙葉中学高等学校	20,000
青山学院中等部	10,000	聖心インターナショナルスクール	10,000	普通土学園宗教部 宗教委員会	23,000
青山学院幼稚園	30,000	双百合幼稚園	2,000	三鷹小鳩幼稚園	40,000
青山学院幼稚園保護者会	60,000	東洋英和女学院小学部母の会	60,000	むさし小山教会教会学校	5,000
学校法人香蘭女学校	50,000	東洋英和女学院中等部・高等部母の会	30,000	明治学院中学校・東村山高校	50,000
学校法人南山学園	10,000	東洋英和中部宗教委員会	20,000	明治学院高等学校	10,000
学校法人立教学院	10,000	東洋英和メサイアをうたう会	25,000	横浜雙葉学園同窓会レジナ会	5,000
学校法人立教女学院	50,000	西荻まこと幼稚園	5,000	代々木教会付属シオン幼稚園	5,000
暁星小学校シャミナード会	250,000	日本キリスト教団城西教会城西幼稚園	5,000		
いのちの電話後援会	1,000,000				

- 相野谷 鷹子 大川 昌巳(貴子) 菊池 洋子 左藤 浩子 玉川 邦子 早川 治子 宮川 澄江
青木 節子 大形 通野 北川 曉子 佐藤 牧子 千葉 和子 林 よしえ 宮崎 恵子
青鹿 博明 大枝 東樹 北川 柳子 塩原 洋光 千葉 和子 原田 よしえ 三輪 恵子
赤津 孝子 扇谷 あづさ 北川 柳子 重山 宜毅 千葉 さい 樋口 浩子 三輪 千代子
赤司 美江子 扇谷 正紀 北村 篤生 穴戸 隆昭 塚崎 誠一(恭子) 久重 倫子 向井 優子
秋月 満子 大崎 百合子 木村 文治 塚本 迪子 久下 勝通(千代) 村井 あつ子
秋葉 幸子 太田 佐喜子 キムラ マサル 辻 聡子 平林 晴子 村井 富美子
秋元 満智子 大竹 信子 木村 美智子 津田 宏 福井 朝子 村上 聖子
秋山 豊 大多和 豊(喜美子) 木村 裕子 島谷 恒 土屋 かほる 福井 眞一 村上 由香
明峯 明子 大塚 和夫 木山 昭栄 島田 恒 筒井 規子 福井 田鶴子 村田 和俊
浅井 清 大鍋 みさお 吉良 爽 下川 三代 津村 有紀子 福田 貴代子 村田 邦子
朝居 健 大野 拓也 黒沢 勝利 清水 かほる 湊元 みさお 福山 清蔵 村山 七郎
浅野 千恵子 大畑 満里子 梶田 結子 清水 迪子 出口 多磨子 藤井 忠幸 望月 和子
味岡 奈保子 大槻 ひで 久保田 知子 東海林 敦子 寺嶋 知子 藤野 純一 本木下 道子
芦田 政子 大浜 光子 熊谷 敏子 城口 博隆 寺嶋 知子 藤野 貴子 森 秀人
熱海 道代 大村 洋子 熊谷 和重 末木 千代 寺田 和子 藤原 洋子 森岡 啓
安達 禎男 岡本 隼子 熊倉 ハルミ 菅原 裕子 寺田 明男 藤田 禧 森本 千恵子
安達 良元 小笠原 悦子 熊野 剛雄 杉浦 正健 得居 かつ子 藤田 睦 森本 富士子
荒井 親雄 尾形 婦志子 慶田 直子 杉田 美貴子 徳富 悌子 藤谷 秀子 森本 芳正
荒井 光夫(弘子) 尾川 公子 小池 多喜子 杉本 英子 友川 栄(幸子) 布施 恵美子 八木 清規
荒木 保子 小川 栄子 小泉 豊 杉山 房子 豊嶋 良一 船田 文継 八木橋 惇夫
有賀 彰子 小川 道子 小泉 良子 杉山 幸四郎 内藤 昭治(ちよみ) 古川 川 満紀子
池谷 一郎(清子) 小倉 京子 河野 董 鈴木 幸四郎 仲 里路 古屋 克利 安田 展久
伊沢 和子 岡崎 康治 桑折 啓子 鈴木 幸子 永井 健一 古屋 千鶴子 安田 はるみ
石井 幸子 岡田 光穂 小堺 三千代 鈴木 敏介 長沢 道隆 古屋 英彦 柳井 良子
石川 英子 岡村 紀男 小坂 緑 鈴木 浩子 中島 邦 古屋 千穂 柳下 弘
石川 忠正(正枝) 岡山 いち 小崎 和代 鈴木 美香子 中島 千晶 保坂 はるみ 柳坪 正子
石田 好子 奥山 章雄 小玉 暢子 鈴木 慰 中島 裕三 星野 恭一 矢部 恭江
石橋 泰 奥津 信一 顧 哲夫 関田 真澄 星野 正美 山口 公成
石原 恵子 小熊 禮子 小林 成子 曾根 晶子 中村 明実 細川 満男 山崎 順子
石原 晶世 小田 靖忠 小林 誠三 田井 順之 中村 武照(喜子) 本藤 育子 山下 恵子
石原 令子 織田 牧子 小林 とも子 高桑 明子 中村 ひろ子 前田 美代子 山下 節子
板垣 昌樹 小田島 毅 小野口 寛之 高桑 佳子 中山 稔 前田 啓子 山下 ひろみ
一宮 栄利子 小野寺 裕子 小野寺 美知子 高橋 ひさ 高橋 節子 仲元 達雄 牧野 朋子 山田 明子
伊藤 英子 柿市 浄子 小谷津 孝明 高橋 勉 高橋 勉 生木 ヨシミ 正野 建樹 山田 妙子
伊藤 満子 傘木 弘之 小谷津 光子 高橋 勉 高橋 勉 並木 浩一 増岡 ひとみ 山田 康
伊藤 誠二 柏原 保久 富美枝 高橋 勉 高橋 勉 成田 久美子 町田 健一(千鶴子) 山中 淳子
伊藤 幽香子 梶原 春江 近藤 汎 高橋 利夫 成田 喜恵 松井 倫子 山本 巖夫
伊東 嘉子 梶山 茂子 斎藤 昭夫 高橋 満至 成田 直子 松尾 隆義 山本 雅江
稲村 優子 梶原 知子 斎藤 敏 高松 和子 西川 秀夫 松尾 隆義 山本 正子
犬尾 順子 片山 知子 斎藤 竜太郎 高山 和子 西川 宏子 松岡 享子 山本 洋子
井上 恭一 加崎 久美子 斎藤 友紀雄 滝沢 英夫(京子) 新田 明子 松岡 千代子 湯浅 寿夫
井上 睦子 加藤 くみ 斎藤 洋子 田久保 静雄 新田 敦子 松崎 千代子 湯川 富士子
今掘 愛子 加藤 直之 斎藤 好子 武井 弥生 沼倉 美智子 松谷 早苗 湯川 れい子
岩佐 ゆき子 加藤 恵 齋藤 幸子 竹内 陽子 野見 善延 松本 満郎 湯川 富貴子
岩崎 建治 門倉 春子 坂入 操子 竹内 嘉男 野田 芳朗 松本 大 湯口 隆司
上野 高尚 門野 豊子 坂入 操子 竹内 嘉男 野田 芳朗 松本 大 湯口 隆司
上原 七司 亀山 康子 酒井 ミツエ 竹口 きよせ 野田 芳朗 松本 大 湯口 隆司
植村 春子 川上 昭栄 坂田 真喜子 竹崎 長 野田 芳朗 松本 大 湯口 隆司
植村 真理子 川北 かおり 桜井 こう朔 竹田 和子 萩原 恭子 三浦 正子 吉岡 一規
植村 みどり 河崎 郁子 櫻井 奈保子 竹田 和子 長谷川 倫子 三浦 郁夫 吉岡 哲
宇田川 セイ 川島 恵美子 桜井 元雄 田島 友恵 橋本 義章(幸子) 美甘 逸子 吉田 君代
瓜生田 隆子 川瀬 英子 佐古 一久 田島 照子 島中 雅子 三階 泰子 吉田 栄夫
浦部 忠久 川橋 幸子 佐々木 彰子 田島 三枝子 八村 研三 御園生 保子 吉田 靖
江野沢 和枝 川村 多津子 佐々木 由利子 田島 文代 八村 悠紀子 身岳 昭夫 吉田 道雄
江幡 清彦 瓦崎 八重子 佐々木 庸子 館 裕子 服部 洋 三村 徳子 吉田 保信
江幡 園子 菅野 美和子 笹森 勝之助(あつ子) 田中 カツ子 服部 洋 三村 徳子 吉田 保信
江平 清 神田 千冬 佐藤 恵理子 田中 純子 花塚 一弥 南 正一 若井 永
追分 けい子 神田 伸枝 佐藤 智子 田中 牧子 馬場 元毅 峰岸 順二 渡邊 義郎
大川 佳子 木内 和子 佐藤 典子 佐藤 典子 谷村 春樹 土生 恭子 峯岸 ひさ子 後援会 有志 33名

その他のご支援

未使用切手、書き損じ葉書、未使用テレホンカードなど多数ご寄付いただきました。

*ご芳名の記載もれや誤字などがございましたら、お手数ですが事務局までお知らせください。

ご支援をお願いします

いのちの電話は相談員の無償の奉仕で支えられておりますが、24時間365日電話相談を受け付けるには、研修費、広報、事務費、借室料など年間約3,000万円の運営費が必要です。その運営費の大部分が皆さまからの尊いご寄付に頼っております。ご寄付には個人、法人ともに税制上の優遇処置もございます。ご支援よろしくお願ひします。

ご寄付振込先

〈郵便振替〉00140-3-162972
社会福祉法人 いのちの電話

〈銀行振込〉三菱UFJ銀行 神保町支店
普通口座 1084827 フクイノチノデンワ

東京いのちの電話 後援会

後援会は、いのちの電話開局1年後(1972年11月)に、財政面を支えるために結成されました。以来、支援者・支援団体の開拓、チャリティー事業などの活動を続けています。チャリティー事業は、活動資金を得る目的とともに、いのちの電話の活動を多くの人々に知っていただくために行っています。

2017年の秋には毎年恒例のバザーを開催し、あいにくの雨にも関わらず、多くの方々に来ていただき盛況の下に終わることができました。

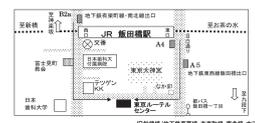
また、もう一つのチャリティー事業として「リコーダーとヴィオラ・ダ・ガンバの演奏会」を2月3日に富士見町教会で開催し、前日の朝、雪が降った影響が心配されましたが、約150人の入場者がありました。リコーダーもヴィオラ・ダ・ガンバも16～17世紀ころ宮廷や教会で演奏された古楽器であり、あまり馴染みのない楽器でしたが、柔らかく自然な音色が小ぢんまりとした会場に響き渡り、来場した人々の心を揺り動かしたようです。バロック音楽だけでなく日本の民謡や世界の名曲など親しみのある曲目の演奏や、楽器の紹介もありました。終了後、多くの感想が寄せられ、どれも「良かった」「感動した」「楽しかった」と好評でした。相談員や家族・友人、OB・OGをはじめ沢山の方が多くの寄付・献金をしてくださいました。皆様のご協力で予想以上の収益をあげることができました。感謝申し上げます。

今年の秋もバザーを計画中です。大勢の方たち楽しんでいただけるように準備を進めています。なお、関係者以外の方からの献品は、スペースの関係上、お受けしていません。是非、お買い物を楽しみにお出かけください。後援会の活動が充実したのになりますように、今後ともご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

いのちの電話 チャリティー・バザー

2018年 **11月3日(土)**
10時30分～13時30分
東京ルーテルセンター1F, 2F
(千代田区富士見1-2-32)

衣類、くらしの小物、タオル、アクセサリー、
バッグ、食品、手作り菓子、手芸品、地方名産…
出品し物がいっぱい!!



収益はすべて「いのちの電話」に
寄付いたします

JR飯田橋駅/地下鉄有楽町線・有楽町線出口
有楽町線10分
03-3263-5794
(平日13:00～17:00)



いのちの電話

ひとりで悩まないで、
こころの苦しみを、お話しください。

24時間

[電話相談]

03-3264-4343

(24時間受付)

自殺予防

[毎月10日は、フリーダイヤル]

0120-783-556

毎月10日8時から翌朝8時まで(24時間・無料です)

[インターネット相談]

<https://www.inochinodenwa-net.jp/>

東京いのちの電話 検索

[東京いのちの電話ホームページ]

<http://www.indt.jp/>



相談員 募集

こころとこころをつなぐ
「聴く」を一緒に活動しましょう。

困難や危機にあって、誰ひとり相談する人もなく、自殺などさまざまな精神危機に追い込まれる人たちが、再び生きる喜びを見つけ出すことを願いつつ、よき隣人として活動しています。

いのちの電話の相談員になっていただくには、養成研修受講者応募の手続きを経て、一定期間の研修を修了して認定を受けることが必要です。

活動趣旨に賛同し、電話相談活動に参加出来る無償ボランティアを募集しています。

募集資格：22歳から65歳

募集人数：40名 募集期間：2018年9月～11月

お問い合わせ：☎03-3263-5794(13:00～17:00)

※詳しくはホームページをご覧ください。

2018年度
社会福祉法人 いのちの電話【東京】

発行人：宍戸信次郎
TEL：03-3263-5794(代)
FAX：03-3264-4949
印刷：モリモト印刷(株)

この広報誌は、共同募金からの
配分金で作りました。

